

(別紙様式)

(A3判横)

令和7年度学校自己評価システムシート(県立浦和高等学校)

目指す学校像	尚文昌武の理念のもと、時代の求めるリーダーの育成を目指す。
--------	-------------------------------

重点目標	1 互いの信頼関係のもと、自走する生徒集団づくりをとおして、目指す学校像の実現に取り組む。 2 生徒に、第一志望はゆずらない、との堅い信念を持たせ、全ての職員が授業改善と生徒一人一人の進路実現に取り組む。 3 保護者・県民に対する情報提供をとおして、開かれた学校づくりを推進するとともに、浦和高校の良さを積極的に発信する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	5名

学校自己評価						
年度目標				年度評価(3月6日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	各年次において「守・破・離」の理念を意識した指導が行われている。 生徒が自分自身の管理(マネジメント)を行い、集団で協力・協働することにより、主体性が最大限伸びるような指導を行う必要がある。	主体性をもって自走する生徒集団づくりをとおしたリーダー育成の推進	ア 1年次 学習活動・部活動・行事への参加をとおして、浦高生としての主体的に取り組む姿勢を身に付ける。 イ 2年次 浦高生として、より一層主体的に取り組む姿勢を身につけ、HR会長を中心に支え合い学び合う集団の形成を促す。 ウ 3年次 支え合い学び合う生徒集団を主体的に行動する生徒集団へと進化させ、個々の人間的成長を促す。 エ 生徒の自主性を育みながら、目標に向かって仲間と共に全力で取り組むことで、達成感や心身の健康を育む。	ア 学習活動・部活動・行事への参加等に主体的に取り組んだという回答が75%を超える。 イ 浦高生として学校生活に主体的に取り組んだという回答が75%を超える。 ウ 卒業生アンケートで、浦高生活を通して人間的成長を感じたという回答が75%を超える。 エ 部活動アンケートで活動に満足と感じた生徒が80%を超える。	ア 1年次 学習活動については85.6%、部活動については93.9%、行事については96.7%の生徒が主体的に取り組んだと回答した。 イ 2年次 アンケートの結果、浦高生活を通して主体的に取り組む成長を感じたと回答した生徒が90%以上となった。 ウ 3年次 卒業生アンケートの結果、浦高生活を通して人間的成長を感じたと回答した生徒が98%となった。 エ 部活動アンケートでの、満足と感じた生徒の結果は、81%で目標を達成できた。	A
2	以下の観点による授業改革及び教員の経験の蓄積・共有を更に推進する必要がある。 1 生徒が主体的で深く学べる学習機会の提供 2 基礎基本の早期定着と、書く力・考える力・伝える力の育成 3 生徒が主体となった行事運営と行事の精選 4 大学入学後までも見据えた授業内容の高度化 ⑤グローバル化社会を視野に入れた志の育成 併せて、多くの生徒が目指す国公立大学進学を現役で実現させるための学習指導・進路指導が必要である。	(1) 主体的な学習を促す授業改善と行事の弾力の運用の推進 (2) 高い志を育成し、進路実現を支援する取組の推進	ア 情報活用能力育成や主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善の取り組みを実施し、教員一人一人の授業に反映させる。 イ 生徒の主体的な学習を促すための、生徒による授業評価アンケートを実施し、各教科(科目)による検討会を行い授業改善に生かす。 ウ 生徒が主体的に行事を運営し、達成感を味わえるようにする。安全に留意して行事の精選や環境整備を促す。	ア 普段から授業を互見し研究する体制を整え、自身の授業で実践を行う。 イ 授業公開及び授業評価アンケートの結果をもとに各教科で授業検討会を年2回以上実施する。 ウ 卒業生アンケートの「行事の満足度」で満足と答えた生徒が85%を超える。	ア 年間を通じて互いの授業を見学し、全校的な授業改善を推進した。また年間19回の土曜公開、11回の他校視察でも授業実践を公開し、新学習指導要領に基づく質の高い授業作りを行った。 イ 多くの教科で授業アンケートを実施し、その結果を踏まえたうえで授業検討会を年2回以上、半分以上の教科で実施した。 ウ 行事の実施、運営について生徒が主体的に関与できた。「行事の満足度」で満足と答えた生徒が99%となった。	A
3	HPや教育活動説明会、土曜公開授業などを通じて情報発信を行ってきた。本校の様々な取組や成果について、より積極的かつ組織的に情報を発信することにより、小・中学校の生徒・保護者をはじめとする県民のニーズに応える必要がある。	積極的な情報提供による開かれた学校づくりの推進	ア 全職員による組織的・計画的な広報活動の展開 イ 教育活動説明会、土曜公開授業等の広報活動の実施 ウ HPを中心とした学校情報提供の機会の積極的な活用	ア 本校の魅力や効果的に発信できるように企画立案し、運営する。小学生対象体験教室・中学生対象部活動体験の説明会を同日に実施する。 イ 本校主催の広報行事(教育活動説明会等)にのべ2000人以上の参加を目指す。 ウ HPのアクセス年間450万件以上、本校以外が主催する説明会への積極的な参加。HP更新頻度を上げ、本校の情報を積極的に発信する。	ア 生徒募集を意識して、予定された広報企画を全て実施するとともに、HP上にてそれらの情報を積極的に発信することができた。小学生・中学生に向けた事業を円滑に実施することができた。また、教育関係者に向けても魅力を発信することができた。 イ 年2回の教育活動説明会(約1,200名参加)、小学生特別講座は(約200名参加)、年8回の土曜公開授業(約850組)、中学生部活体験(約90名)が参加した。のべ2576名と多くの小中学生及び保護者に浦高の魅力を発信できた。 ウ HPは毎日更新し、アクセスは約590万件(2/1時点)に到達した。部活動の活動方向だけでなく、説明会など行事の告知や、生徒の日常が分かる発信も積極的に行った。	A

学校関係者評価		
実施日	令和	8年 3月 7日
学校関係者からの意見・要望・評価等		
<p>今年度も学習活動、部活動、行事のすべてにおいて生徒が主体的に取り組んでいる様子がうかがえる。勉強で得た知識や問題解決能力だけではなく、普段の学校生活や行事、部活動等、人と接する中で身についた力を発揮している。部活動の満足度は80%を超えているが、活動時間が長いと感じているようである。その要因を検証して今後活かしてほしい。</p> <p>これからは、自分で問いや課題を立てられる力が必要である。その力は、自分で目的を持ち課題を設定して、自身がそれを成す主体性である。浦高の教育はこの主体性をいかに伸ばすかというところにある。先生方には、色々なレベルの生徒に対しての学習方法やスキルの向上などについて、指導法や授業の進め方を研究して、浦高の教育をさらに高めてほしい。</p> <p>丁寧な進路指導を行っている。大学見学会は1つだけでなく、他にもいくつかの大学の見学会を実施してみたいか。生徒は大学で何をやっているのか実質的にはわからないため、どのようになっているのかということだけでもやってみるとよいのではないか。筋道だけつけければ、その後は生徒自身で進めていけると思う。</p> <p>学校説明会において、社会と学校教育との結びつきについて説明する必要があるのではないかと。学習面だけでなく、行事をはじめとする教育活動が何に役に立つのか等について説明しないと、入学したい中学生が目標にしにくいし保護者にも響かないと思う。学校としての考え方や説明の仕方を整理しておかなければならない時期であると考えている。年々志望校を考え始める時期が早くなっていることから、対象者や広報の時期などを工夫し、さらに充実させてほしい。</p>		